

「変わってみたい」という挑戦の先には、 出会ったことのない自分がいた



社会的養護のもとに暮らす高校生対象
ビヨンドトゥモロー

エンデバー・プログラム 2024 2023年12月1日～ 応募受付開始！

ービヨンドトゥモローとはー

「逆境は優れたリーダーを創る」という理念のもと、
返済不要の奨学金給付と人材育成プログラムの提供を通して、
親との離別や虐待、貧困などの困難を経験した若者が
社会のリーダーとして活躍する過程を応援しています。

BEYOND
Tomorrow

エンデバーとは

高校卒業後に進学を志す高校生の成長過程を応援する1年間のプログラム。
全国から集まる仲間とともに切磋琢磨しながら成長する場を提供します。
①年間を通じた人材育成プログラムの実施（参加に係る費用は主催者が負担します）
②高校卒業後の進学にむけた入学試験料の支給（最大10万円を限度に給付します）

対象者

応募時点で児童養護施設などの社会的養護施設または里親家庭に暮らしている、および11月
開催のジャパン未来リーダーズサミット2023に参加した高校1年生、2年生
（選考あり・詳細は応募要項参照のこと）

応募の流れ

2023年12月1日 応募受付開始（24年1月5日締切）
2024年1月中旬 1次選考 書類選考
2024年2月 2次選考 オンライン面接

※詳細の日程は応募要項をご参照ください。
※2次選考前に保護者を対象としたオンライン面談を行います。詳細は、1次選考通過者に通知します。

「エンデバー」は英語で「実現への試み」を意味します。18世紀の探検家キャプテン・クックの南太平洋探検の際の帆船名でもあり、
1992年～2011年に宇宙を飛行したスペースシャトルの名称でもあります。

主催 一般財団法人教育支援グローバル基金

過去のエンデバー・プログラム参加学生の声



河野れいさん（仮名）（2021年度参加）

私は里親家庭で幼少期から育っていますが、ビヨントゥモローの仲間と出会う前はあまり似た境遇の同世代の方と関わる事がなく、境遇の事で悩み苦しんでいるのは自分だけだと思い、孤独感を感じていました。しかし、ビヨンドの仲間と出会い、バックグラウンドをシェアする事によって、似た境遇で育った仲間がいるという事を実感でき、「皆も未来を向いて頑張っているのだから自分も過去じゃなく未来を見て頑張らなきゃいけない」と感じ、前を見て生きることができるようになりました。



本田翔太さん（仮名）（2021年度参加）

エンデバーに参加したことで、「自分が見失っていた大切なもの」に気がつけました。私は里親のもとで暮らすようになってから、児童養護施設で離れて暮らす妹と弟と会うと、父親からの虐待と学校でのいじめを思い出してしまうのでとても辛かったので、自分の家族のことがとても嫌いでした。ですがビヨントゥモローの同じ班のメンバーから「自分の家族が欲しかった」という言葉聞いたときに、私は初めて自分の妹や弟という家族がいることは他の人よりも幸せで大切なことなのだと気づくことが出来ました。

ビヨントゥモロー エンデバー・プログラム2024（開催期間：2024年3月～2025年3月）

人材育成プログラム

1年間の人材育成プログラムを通じ、各界で活躍するリーダーとの対話や、様々な困難を経験しながらも社会のために働くことを志す仲間との対話、社会課題について考える機会の提供を行います。様々な活動を通じて、自らの視野を広げ、自分の将来について考え、広く発信活動を行います。

<過去のプログラム事例（2024年度のプログラム内容とは異なる可能性があります）>

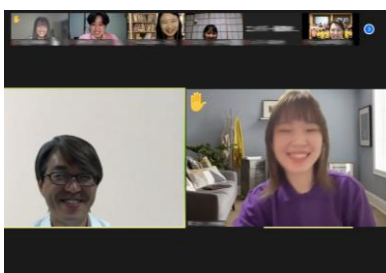
- ・オンラインスピーカーセッション 羽生善治氏や山崎直子氏など、社会の第一線で活躍されるゲストのお話を聞く
- ・サマーリトリート 多様なフィールドワークを通して将来の選択肢を広げる 開催地：長野県、兵庫県など
- ・ジャパン未来リーダーズサミット 全国からリーダーを志す学生が集い提言を作成する 開催地：東京都

※参加に係る費用（交通費、宿泊費、食費、各種活動費）は、財団規程に基づき、主催者が負担します。

進学準備奨学金給付

2023年度に高校3年次に在籍し、高校卒業後に進学を志す学生を対象に、進学準備費用を奨学金として給付します。進学のための受験に際し、センター試験検定料および、大学・短大・専修学校の入学検定料・受験料について、10万円を上限に支給します。（2023年度に高校2年次に在籍している方は2024年度受験時に10万円を上限に支給）

過去のプログラムの様子



お問い合わせ先

一般財団法人教育支援グローバル基金
〒150-0046 東京都渋谷区松濤1-26-18 園ビルディング1F
電子メール：info@beyond-tomorrow.org
電話：03-5453-8030

最新情報やプログラムの様子などを発信中！

ビヨントゥモロー



Twitter



Instagram

(現高校1年生、2年生対象)
ビヨンドトゥモロー エンデバー2024 【応募要項】

社会的養護の下に暮らす現高校1年生、2年生を主対象とし、彼らが将来、社会のために活躍する人材になるべく進学を目指す過程を応援する「ビヨンドトゥモロー エンデバー2024」への参加者を募集します。本事業は、進学準備に際して必要となる受験準備費用を支給するだけでなく、年間を通じたプログラム開催を通じ、日本全国から集う様々な想いを持つ若者が、広い視野から自分に何ができるかを考え、主体的に高校卒業後の進路を選択する過程を応援します。

【主催】一般財団法人教育支援グローバル基金 【プログラム期間】2024年3月～2025年3月（1年間）

【プログラム内容】 エンデバー2024は、以下の活動から成る、1年間の包括的なプログラムです。

1. 人材育成プログラム

1年間に4～8回程度開催される人材育成プログラム（内、集合研修形式の対面プログラムは3～4回）を通じ、各界で活躍するリーダーとの対話や、様々な困難を経験しながらも社会のために働くことを志す仲間との対話、社会課題について考える機会の提供を行います。様々な活動を通じて、自らの視野を広げ、自分の将来について考え、広く発信活動を行います。これらのプログラムは、奨学金給付にあたり原則参加必須となります。

人材育成プログラム（対面）開催スケジュール（予定は今後変更になることがあります）

第1回 オリエンテーション・プログラム 開催地未定 2024年3月（予定）

第2回 サマー・リトリート2024 開催地未定 2024年8月予定

第3回 ジャパン未来リーダーズサミット2024 東京開催 2024年11月予定

第4回 総括・まとめ 開催地未定 2025年3月予定

※参加に係る費用（交通費、宿泊費、食費、各種活動費）は、財団規程に基づき、主催者が負担します。

人材育成プログラム（オンライン）開催スケジュール：年数回開催（2023年度は4回実施）

2. 進学準備奨学金給付

2024年度に高校3年次に在籍し、高校卒業後に進学を志す人を対象に、進学準備費用を奨学金として給付します。進学のための受験に際し、大学入学共通テスト検定料および、大学・短大・専修学校の入学検定料・受験料について、10万円を上限に支給します（2024年度に高校2年次に在籍している方は、奨学金給付は2025年度に支給）。尚、日本学生支援機構（JASSO）の「児童養護施設等の生徒への受験料等支援」との併用はできません（当財団の奨学金給付を辞退して、人材育成プログラムに参加することは可能です）。

【応募資格】 下記条件を満たすこと。

- 1 応募時点で、児童福祉法に基づき、児童養護施設などの施設に暮らしている、または都道府県知事から委託を受けた里親家庭に暮らしている、またはジャパン未来リーダーズサミット2023に参加経験があること。
- 2 応募時点で高校1年次、または2年次に在籍していること。
- 3 年間を通じて開催される各種プログラムに参加する意志があること。
- 4 2024年3月に開催するオリエンテーション・プログラムへの参加を確約できること。

【選考方法】

1次選考：書類審査

2次選考：オンラインでの面接試験（応募者本人）

※2次選考の前に、保護者（施設長／里親など）を対象とした面談（対面もしくはオンライン）を行います。

※最終合格者には、施設長の発行する在籍証明書または里親委託証明書（児童委託証明書）を提出いただきます（サミット2023参加者を除く）。書類内容を確認の上、応募資格を満たしていることが認められない場合には合格を取り消します。また、合格した場合でも、後日申告内容に虚偽や事実と異なることが認められた場合には、プログラムから除外となる他、既に支給した奨学金の返金を求めることがあります。

【裏面に続く】

【応募方法】

下記の書類の全てを、締切までに提出すること。応募書類は返却いたしません。1次選考の結果についての個別のお問い合わせは理由の如何を問わず受け付けません。1つの施設から複数名の応募は可能です。

- 1 応募用紙（指定応募用紙に必要事項を記入のこと）
- 2 保護者（施設長／里親など）からの推薦状（厳封のこと）

【締切】 2024年1月5日（金）必着

【応募の流れ】 選考は、以下のスケジュールで行います。

- | | |
|---------|--|
| 1月5日（金） | 応募締切（必着） |
| 1月10日頃 | 1次選考合格者への合格通知および2次選考案内送付（不合格者には通知はありません） |
| 1月中旬 | 保護者（施設長／里親など）とのオンライン面談を実施 |
| 2月4日（日） | 2次選考 オンラインでの面接（応募者本人のみ） |
| 2月中旬 | 最終合格者発表 応募者本人及び保護者（施設長／里親など）に通知します |

※本プログラムの合格者は、2024年3月下旬（予定）に開催されるオリエンテーション・プログラム（集合対面形式を予定）への参加が義務づけられています。詳細は確定次第追ってご連絡いたします。

【送付先】 応募書類の送付先は、以下の通りです。（切り取って郵送先のラベルとして使用してください）

※遅配・不達等の郵便事故の責任は負いかねますのでご了承ください。

キリトリ

〒150-8681 東京都渋谷区渋谷1-12-13
 渋谷郵便局留
 一般財団法人教育支援グローバル基金
 「ビヨンドトゥモロー エンデバー2024係」 行

局留め郵便のため、宅急便などでの送付はできません。

【一般財団法人 教育支援グローバル基金およびビヨンドトゥモローについて】

一般財団法人教育支援グローバル基金は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン（地球市民）の輩出をめざす「ビヨンドトゥモロー」の運営を行っている非営利の財団法人です。「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に、次世代を担う資質を持ちながらも、社会経済的に困難な状況にある若者たちを対象とした奨学金支給及び人材育成プログラムの開催を通し、広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出をめざしています。

| | | |
|--------|---------------------------|---|
| 理事 | 橋本 大二郎（代表理事） 小林 正忠 | 元高知県知事 楽天グループ株式会社 常務執行役員 チーフウェルビーイング オフィサー |
| | 木山 啓子 本庄 竜介 村瀬 悟 | 特定非営利活動法人ジェン（JEN）理事・事務局長 グリーンコア株式会社 代表取締役 メイヤー・ブラウン法律事務所 弁護士 |
| 評議員 | 塩崎 恭久 宮城 治男 小宮山 利恵子 | 前衆議院議員・一般財団法人勤草日本イニシアティブ代表理事 NPO 法人 ETIC. 創業者 スタディサプリ教育AI研究所所長・東京学芸大学大学院准教授 |
| アドバイザー | 阿川 尚之 竹中 平蔵 | 慶應義塾大学 名誉教授・同志社大学 教授 慶應義塾大学 名誉教授 |
| 監事 | 上滝 賢二 | 元日本放送協会理事 |

【問い合わせ】 一般財団法人教育支援グローバル基金

電子メール：info@beyond-tomorrow.org 電話：03-5453-8030 ファックス：03-6745-9100

ビヨンドトゥモロー エンデバー2024
保護者（施設長／里親など）による推薦書
（保護者の方がご記入の上、厳封ください）

| | |
|-------|--|
| 志願者氏名 | |
|-------|--|

ビヨンドトゥモロー エンデバー2024 は、社会経済的に困難な状況にありながらも社会の力となる志を持つ高校生を応援しています。選考にあたり、志願者のこれまでの背景や、日常生活における所見、志願者の人柄など、当財団が選考にあたって志願者について知ることが有用と思われる情報について下記にできるだけ具体的にご記入ください。紙面が足りない場合は、裏面または別紙に記載してください。

日付（西暦）

住所

電話番号

推薦者氏名

印

（該当するものに✓をつけてください）

志願者との関係

- 本人が居住する施設の施設長 都道府県知事により委託された里親
 保護者

施設名（社会的養護の施設に暮らしている場合）

本状は必ず保護者の方がご記入の上、厳封してください。

ビヨンドトゥモロー エンデバー2024 応募を迷っているかもしれないあなたへ



小林 朱里（こばやし しゅり）
エンデバー2022、ジャパン未来スカラーシップ・プログラム 2023 年度奨学生
（大学1年生／看護学部）

幼少から里親家庭で生活し、17歳の時に養子縁組を組む前に里父が他界。「家族の一員になれない」という事に悔しさで一杯だったが、里父が自分を本当のこどもだと言っていたことを知り、家族でいるために戸籍上の関係は重要ではないと感じた。地域住民の生活を支える保健士になるべく進学。地域住民の憩いの場になるような宿泊型フリースペースを地域の商店街に作りたいと思っている。

皆さんが家庭や学校以外で自分をありのまま、表現できる場所はどこですか？
私は、ビヨンドトゥモローと回答します。

一昨年の12月、私の家に児童相談所の方がやって来て、ビヨンドトゥモローの要項を渡してくれました。最初は、「受験料ももらえるみたいだし応募してみるか！」くらいの軽い気持ちで応募しました。しかし、自分なりにビヨンドトゥモローの活動を調べていくうちに「絶対この活動に参加したい！受かりたい。」という気持ちが強くなっていきました。合格通知をもらった時は里母と一緒に喜んだのを覚えています。

ビヨンドに参加して初めて、私は自分の過去を振り返り、それを人様に共有をするという体験をしました。初めて参加したときは、「自分の過去なんて聴いてもらっても…」という謙遜の感情がありました。しかし、回を重ねていくごとに「もっとこの人たちに私の事を聴いてもらいたい！」という感情に変化していきました。

なぜ私の感情が変化したのでしょうか？それはビヨンドの学生達が私を受け止めてくれたからです。

ビヨンドに参加する学生達は、それぞれ事情は違うものの、似た境遇の人たちが集まっています。だからこそ、それが「自分の過去をオープンにすることなんて怖くない！」という感情にさせてくれます。

藤井風というアーティストの楽曲の中に「青春病」という曲があります。その曲の歌詞に「止まることなく走り続けて行け 何かが僕にいつでも急かすけど どこへ向かって走り続けんだっけ 気づけばまた明ける空」という部分があります。エンデバーに応募しようか迷っている皆さんの中には、自分がどの道へ進みたいか分からない、或いは自分が何者なのか分からない、と感じる方もいると思います。そうであるとしたらビヨンドトゥモローに応募してください！ビヨンドトゥモローはあなたの人生の中に於いて大きな光となり、支えになります。

迷ったらやってみよう！沢山の仲間があなたを待っています。